

東北地方太平洋沖地震

連合救援ニュース

発行日 2011年3月18日(金)

発行 連合災害対策救援本部

連絡先 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

事務局 TEL 03-5295-0539

NO3号

3月11日14時46頃発生した「東北地方太平洋沖地震」に被災されました多くの皆様に心よりお見舞い申し上げます。

1. 被災地の地方連合会からメッセージ

<連合岩手・小野事務局長より>

東北地方・太平洋沖地震のご支援に感謝いたします。岩手県は多数の犠牲者・行方不明者や家屋の崩壊など大きな被害が発生しました。大震災の発生から6日目、真冬並みの寒波に見舞われ、津波で甚大な被害を受けた沿岸部は厳しく冷え込みました。深刻な燃料不足で暖房使用は制限され、避難住民は寒さにこらえ、先が見えず長期化を余儀なくされる避難生活により疲労の色を濃くしています。この様な厳しい状況にありますが、連合岩手は関係機関・地域との連携を図り、組織の総力を挙げ一日も早い復興に向けた取り組みを展開していきたいと思っております。今日までのご支援と激励に感謝申し上げますと共に、更なるご支援を賜りますようお願いいたします。

<連合福島・影山会長より>

3月11日、福島県は甚大な地震によって未曾有の被害を受けました。地震の発生から7日目を迎えましたが、死者500名以上、行方不明者は3000名以上と実態把握まで相当の時間がかかる見通しである。また、福島原発の緊急事態が続き、危険の度合いが高まっております。連合福島は、被災状況の把握に努め、一日も早い復興を願い、日夜を問わず行動を展開しております。連合に結集する全国の仲間の皆さん、福島県の支援活動にご協力願います。

<連合宮城・佐藤事務局長より>

3月17日、固定・携帯電話とも不通状態のため連合宮城専従役員・事務局員の安否確認が進まず、最後の一名の確認のため、全自交の協力を得て甚大な被災地である石巻市へ赴き無事を確認しました。しかし、連絡のとれない構成組織も数多く存在し、引き続き安否確認に全力を挙げることとしています。宮城県は、17日20時40分現在、判明しているだけで死者1,718人、行方不明者2,167人と甚大な被害を受けました。18日未明は真冬並みの気温が予想され沿岸部を中心とする避難所等の燃油不足の影響が心配されます。この間の連合をはじめとする全国の皆様からのご支援に感謝申し上げますとともに、全組織をあげて復興に向け取り組んで参りますので、引き続きのご支援をお願いいたします。

2. 災害対策救援本部の当面の取り組み

(1) 被災地への激励訪問・状況把握の実施

ニュース NO. 2 でもお伝えしましたが、連合本部は、19日に、南雲事務局長・磯部総務局長が福島県と宮城県に、山本副事務局長・松永組織局長が岩手県に、それぞれ訪問しお見舞いと激励を行うとともに、現地状況の把握・要望などを聞き取りに行きます。

(2) 政府等への追加要請について

第1回目の政府・政党要請では時間の関係もあり「緊急事項」のみに絞りましたが、今後必要と思われる事項、政策課題について追加要請を検討することとしています。

(3) 第2段階の取り組み準備

対策本部の任務の追加や被災状況の調査などを整理することとしました。

(4) その他

4月末までの休日対応。HPのバナー。街頭カンパ。

3. JR お茶の水駅で街頭募金

本日、連合本部と構成組織で早朝に実施した JR 御茶ノ水駅での街頭募金活動では、509,727 円もの浄財が集まりました。被災者の皆様に対する温かなお心遣いを強く感じられるカンパ活動のスタートとなりました。参加いただいた皆様への感謝を申し上げますとともに、以降の募金活動にもご協力をお願いいたします。(右写真は、古賀会長が先頭に立って実施した街頭での救援カンパ)



4. 海外からお見舞い届く

ITUC のシャランバロウ書記長をはじめ、海外から連合に多くのお見舞い・激励メッセージが届いています。

5. 災害救援物資の輸送

被災地の避難所では、大変な生活物資不足が起きています。早急な救援物資を輸送するため、国および都道府県との連携で取り組みます。

6. 震災関連ワークルールQ & A を立ち上げました

震災に関連して発生している労働問題に対応するための Q & A と、関連する「厚生労働省通知」へのリンク集を、連合のホームページ上の「連合災害対策救援本部ページ」にアップしました。今後、随時追加していく予定です。是非ご活用ください。また、本ニュース第2号でお知らせしたとおり、ワークルールに関して現場で直面している問題がありましたら、ぜひ、連合本部雇用法制対策局までご連絡ください。Q & A に随時反映させていきます。また、厚生労働省への要望事項などがありましたら、あわせてご連絡ください。

(送付先Eメール：jtuc-koyou@sv.rengo-net.or.jp)

7. 節電のご協力

電力の供給逼迫による計画停電が実施されています。引き続き、不要な照明や電気機器の利用を控えるなどの節電を心がけましょう。

8. 『東北地方太平洋沖地震』に関する被災状況報告のお願い

ニュース NO. 1、NO. 2 でお願いしましたが被災状況の把握を行っています。報告用紙に必要事項を記載の上、返信願います。被災状況の詳細について3月22日に開催する緊急の中央執行委員会で報告することとします。第2次の集約は19日ですので、引き続きご協力願います。

9. 災害対策救援本部の連絡先

新しい連絡先です。電話番号が変わりました。連合本部6階601会議室。

連絡先：連合本部組織局＝電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547
e-mail soshiki@sv.rengo-net.or.jp
災害対策救援本部連絡窓口：災害対策救援本部事務局＝寺田
構成組織連絡窓口：構成組織担当事務局＝林、高木
地方連合会連絡窓口：地方連合会担当事務局＝松永、金田、西巻

10. 災害対策救援本部から

※「訂正とお詫び」

ニュース NO. 2 で掲載した氏名に誤りがありましたので、訂正してお詫び申し上げます。

辻本災害ボランティア担当首相補佐官(誤)→(正) 辻元災害ボランティア担当首相補佐官

※「支援の輪」

各報道を通じて伝えられている被災地の被害状況に、様々な支援の動きが広がっています。連合本部・構成組織・地方連合会が情報を共有し行動しましょう！被災地では、物資が不足していますが、支援物資を送付するときには組織としてしっかりと対応することが重要です。復興にはとても長い時間がかかることが予想されます。できるときにできることを、そして必要とされている支援を提供することを冷静に考えて取り組むことが大きな力になるはずで、被災地から遠く離れていても支援は様々な手法で行えます。できる支援を続けていきましょう！



※「連合本部 東北地方太平洋沖地震救援カンパ」今後の予定
○3月25日(金) JR秋葉原駅 8:30~9:30、17:30~18:30

○4月01日(金) JR神田駅 8:30~9:30、17:30~18:30

※街頭での募金活動を今後も定期的実施し、いただいた募金は被災地の自治体や被災された方々への救援金として全額寄付致します。

※なお、計画停電の影響により、通告なく中止することもありますのでご理解をお願い致します。

(左写真は、3月18日の街頭での救援カンパ)

(ありがとうございます。)